

講師紹介

中村ゆかり Yukari Nakamura



5歳より才能教育鈴木メソッドにてヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、渡仏。パリエコールノルマル音楽院最高演奏家資格取得。パリ市立音楽院を満場一致の首席卒業。その後パリ国立高等音楽院（CNSMDP）に首席で入学し、修士課程を経て卒業。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第2位、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール最高位、日本ヴァイオリンコンクール銀賞、江戸川新人コンクール第1位、東京芸術センターヴァイオリンコンクール銅賞、神戸芸術センターヴァイオリンコンクール銀賞、サンハート アンサンブルオーディション最優秀賞、他多数入賞。東京芸術大学音楽学部附属音楽学部高等学校60周年記念演奏会のソリストに選抜される。映画『のだめカンタービレ巴里編』の水川あさみの吹替えなどにも出演。パリ国立高等音楽院在学中にはイダヘンデルのマスタークラスを受講。サルコルトーホール（パリ）にてミディエドゥミコンサート出演やリサイタル開催。チョンミョンフン指揮するフランス放送フィルハーモニー管弦楽団の次席奏者としてサルプレイエルにて定期演奏会に出演。フランスのCD会社カシオペからピアニストのマリーピエールソーマ氏と『ヴィエルヌのヴァイオリンソナタ』をリリースする。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、マッシーオペラ管弦楽団、江戸川フィルオーケストラ、藝高同窓会記念オーケストラと共演。これまでに、篠崎功子、田中千香土、シルヴィー・ガゾー、ジェラルド・プーレに師事する。平成28、29年度長野市芸術館クラシックキャラバン第1期登録アーティスト。（株）ウエストミンスターより1stアルバム「Harmonie アルモニー」を収録。このアルバムがレコード芸術にて準特選盤受賞。桐朋学園大学音楽部附属の非常勤講師を経て、現在は演奏活動の傍らユースオーケストラの指導やアウトリーチにも力を入れている。2020年-2025年度公益財団法人日本芸術協会奨学生。2026年に自身の2ndアルバムをティートックレコーズよりリリース予定。

植村理葉 Riyo Uemura



全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位、日本音楽コンクール第2位およびナカミチ賞・新日鉄音楽賞フレッシュ・アーティスト賞を受賞。ミケランジェロ・アパド国際コンクール優勝、レオポルト・モーツァルト国際コンクール最高位およびモーツァルト特別賞受賞。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、ケルン音楽大学でイゴール・オジム氏に師事し、文化庁芸術家在外研修員（3年派遣）として研鑽を積む。最優秀成績で卒業後、ローザンヌ音楽院にてローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてピエール・アモイヤル氏に師事し、首席で卒業。国内では鈴木共子、小林健次、和波孝禧、千本芳恵の各氏に師事。ソリストとしてヨーロッパ各地のオーケストラと90回以上共演。ケルン室内オーケストラ、プラハ・シンフォニエッタ、ハレ・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・カメラータ、ローザンヌ室内管弦楽団などの定期演奏会でコンチェルトを演奏し、高評を得る。また、サンクトペテルブルク、フランス、ドイツの音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルに招かれるほか、ウランバートルで客演し、モンゴル国立音楽舞踊大学のマスタークラス講師も務める。国内では、毎日新聞社主催「毎日ゾリステン」に出演。バッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータとソナタ》、ブラームスおよびベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏を行う。また、朝日カルチャーセンターでモーツァルトおよびベートーヴェンのソナタシリーズの講師を務めた。ピュシス弦楽四重奏団を主宰し、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会を開催。ドイツ・ソニーからシューマンのヴァイオリン協奏曲をリリース。カメラータ・トウキョウよりリリースされた『ラヴェル：ヴァイオリン・ソナターフランス・ヴァイオリン作品集』および『フォーレ：ヴァイオリンとピアノのための作品集』は、「レコード芸術」「音楽現代」などで特選盤に選ばれ、高い評価を受ける。毎年「植村理葉ヴァイオリン夏期講習」を開催し、後進の指導にも力を注いでいる。www.riyo-uemura.com

施設紹介



落ち着いた雰囲気のエントランス



1階ラウンジでの演奏会